

# 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

## 1. 研究課題名

国保旭中央病院におけるAeromonas菌血症についての疫学のおよび臨床的検討

## 2. 研究の対象患者

旭中央病院(当院)で下記の期間内に採取された血液培養(静脈血、動脈血、血管内カテーテル採血培養)からAeromonas spp. が検出された方で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない方。

・選択基準

1) 年齢・性別、入院・外来の別、主病名、背景疾患を問わず、当院で採取された血液培養(動脈血、動脈血、血管内カテーテル採血培養)から、Aeromonas属に属する細菌が検出された全症例

・除外基準

1) 診療録より、コンタミネーションと判定されたと判断できる方

2) 同一患者から30日以内に複数回・複数セット血液培養が採取された場合の、2セット目以降

## 3. 研究の対象期間

2018年1月1日～2023年9月30日

## 4. 研究の概要

Aeromonas spp. は河川・湖沼・井戸水などの淡水や、沿岸海水、土壌、魚介類などに広く常在し温暖な環境でよく発育するグラム陰性桿菌である。腸炎や肝胆道系感染、皮膚軟部組織感染、敗血症などを起こし、特に免疫不全者では重症になり、菌血症の死亡率は約30%と報告されている。本邦でのAeromonas感染についての報告は少ない。当院ではAeromonas菌血症の症例が多いことが経験的に知られているが、実態や理由は明らかではない。そこで、本研究では、当院におけるAeromonas感染症につき診療録をもとに後向きに解析し、Aeromonas菌血症の疫学について検討する。

## 5. 研究実施予定期間

2024年10月2日～2025年3月31日

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、住所(市町村名)、既往歴、合併症、手術既往の有無、水系暴露の有無

〔臨床的情報〕：臨床診断名、抗菌薬投与の有無、使用抗菌薬、予後(30日以内の死亡)

〔血液培養検査〕：培養陽性日、培養陽性セット数、菌名、感受性、培養採取場所(外来あるいは病棟の別)、混合感染の有無

## 7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：感染症センター 古川 恵一

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)